

学習の評価について（幼児部編）

10月に入り、木々の紅葉も目に付く季節となってまいりました。日本では、「〇〇の秋」と、〇〇にいろいろな言葉を当てはめて形容しますが、皆様はどんな言葉を思い起こされるでしょうか。

補習校では、今週6日L校、次週13日W校で「おしらせ・通知表」をお子さんに配付することとしています。「評価の秋」です。年間45回の授業日のうち、前半22回の授業等でのお子さんの学校生活の様子を報告させていただくのが、補習校の秋の恒例です。詳細は、本日配付の「『おしらせ・通知表』の見方について」をご覧ください。（W校は、次週配付です。）

補習校では、学習指導要領に基づきカリキュラムを作成し、「指導と評価の一体化」を目指して、「おしらせ・通知表」を作成しています。今週から3回にわたり、学習と評価の関係、そして「おしらせ・通知表」の意義とあり方について分かりやすくご説明いたします。

<幼稚園学習指導要領の5領域＝健康・人間関係・環境・言葉・表現> → 「ことば・表現」を概説します。

「言葉」の目的→ 経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。



七夕飾りに願いを託して



これは何の花？ことばの学習

※具体的には・・・(1)略

(2) 幼児が自分の思いを言葉で伝えるとともに、教師や他の幼児などの話を興味をもって注意して聞くことを通して次第に話を理解するようになっていき、言葉による伝え合いができるようにすること。

(3) (略)

(4) 幼児が日常生活の中で、文字などを使いながら思ったことや考えたことを伝える喜びや楽しさを味わい、文字に対する興味や関心をもつようにすること。

「表現」の目的→ 感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。



思い思いにつくろう



日本の伝統行事を体感

※具体的には・・・

(1) 生活の中で様々な音、色、形、手触り、動きなどに気づいたり、感じたりするなどして楽しむ。

(2) 生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。

(3) 様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。

(4) 感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったりなどする。

幼児部の評価は、一人一人のよさや可能性を把握したうえでの幼児理解に基づいた評価であって、他の幼児との比較や一定の基準に対する達成度について評定を加えるものではありません。幼児の発達の状況を様々な資料で蓄積して、ご家庭と共有しながら、小学校への接続を目指していきたく考えています。ご家庭のご理解とご協力をお願い申し上げます。